

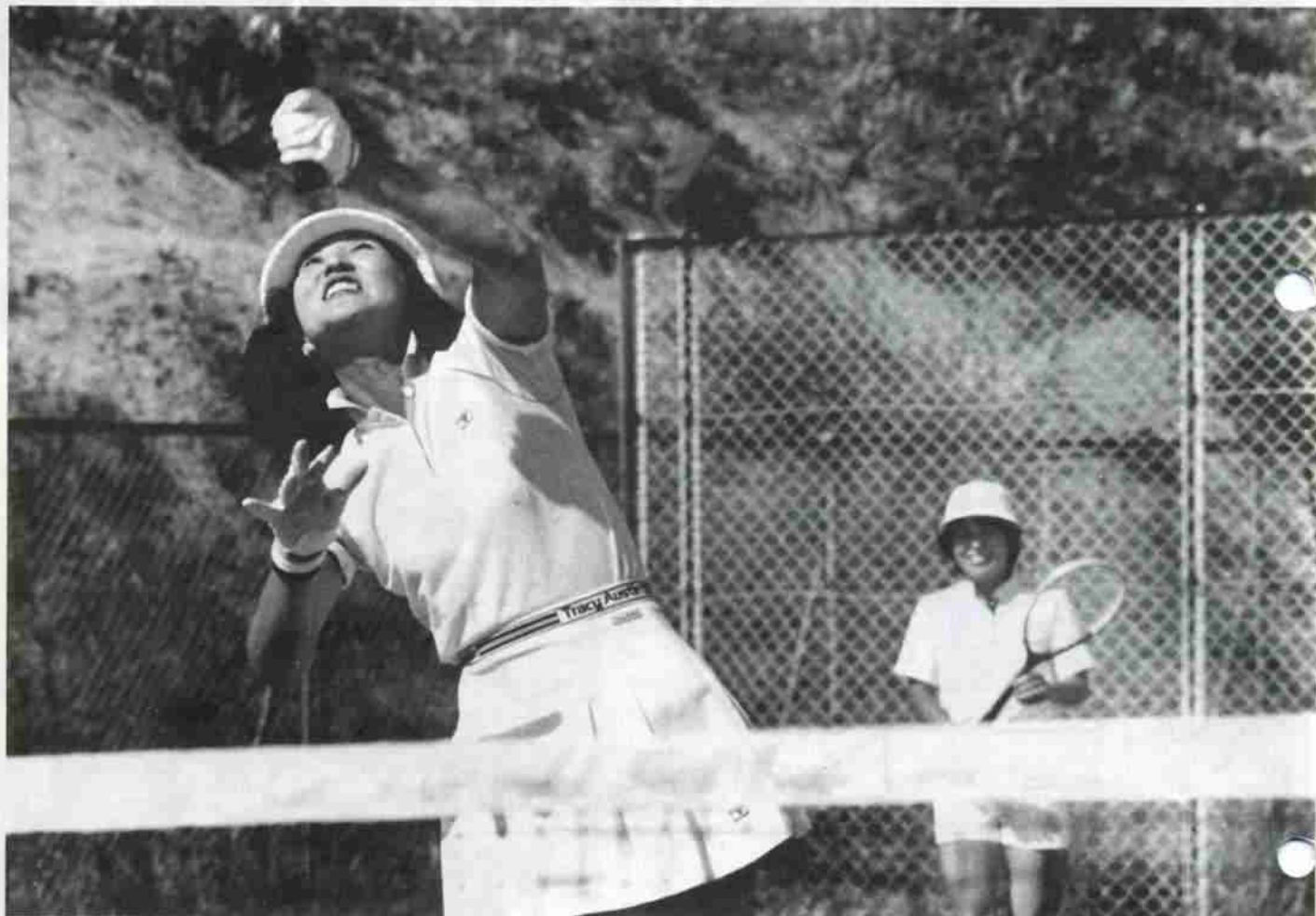
広報

のほろ

主な内容

- 市街化区域、用途地域が一部変更になります 2P
- 第2回のぼりべつ提灯まつり—6千個の提灯の下で..... 3P
- 口先だけで終わっていませんか—市民憲章実践運動を考える..... 4・5P
- 郷土史探訪 ⑨ 鉦山町Ⅲ..... 6P

●No.401 ●昭和59年9月1日 ●発行/北海道登別市 ●編集/総務部公聴広報課 ●印刷/大洋印刷



テニスを通して懇親の輪

婦人テニスサークル

白い帽子、白いシャツ、白いクツ——とは童謡のカモメの水兵さんばかりに限りませんでした。写真のとおり、ここ市営テニスコートでも8月21日、残暑の続く中で登別レディースのご婦人たちが大会目指してスマッシュ、ボレーの練習。

お聞きすれば、週2回の練習は大会ばかりでなく、スポーツを通して懇親の意味が大きいとのことでした。

新聞紙上などでも自由な時間が増加しているという日本人。テニスサークルに限らず、ご婦人の趣味、スポーツは、ご主人の理解あってのものですが、とにかく心身ともに健康であれば、これに優るものはないのではないのでしょうか。

ちなみに、市営テニスコートをご利用になりたい方は、労働福祉センターへご連絡ください。(TEL 5044)

9.1 '84

市街化区域・用途地域が一部変更になります

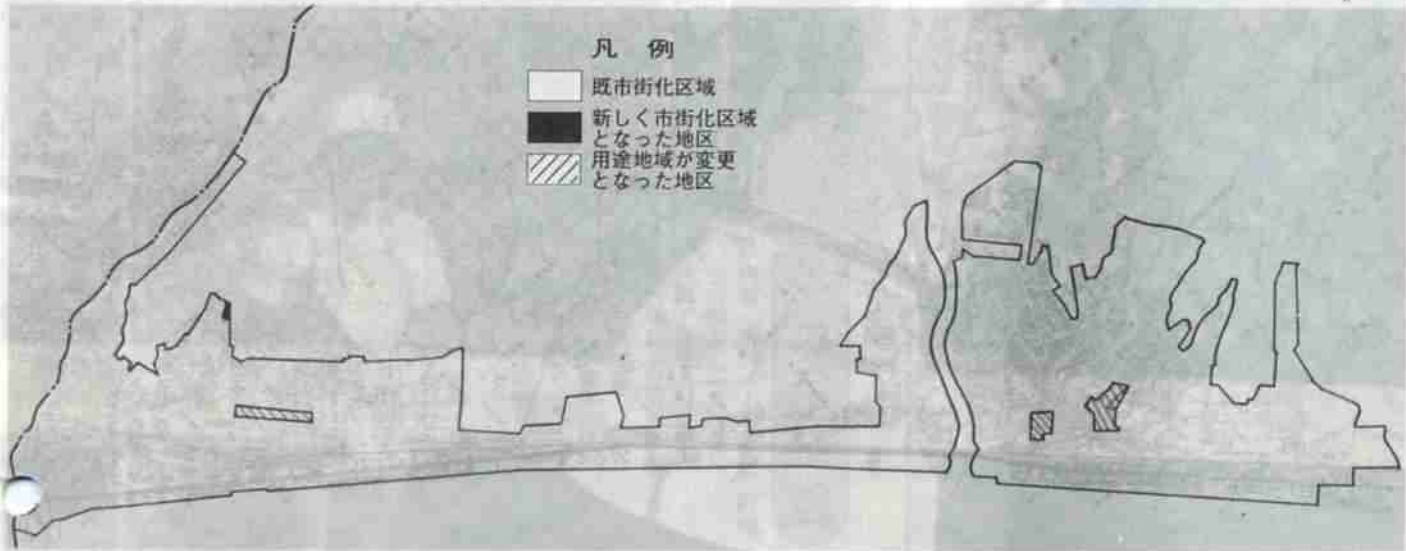
編入市街化区域と用途指定変更の内容

変更箇所	変更内容				変更面積 ha	種別
	現在		変更後			
	種別	容積率	種別	容積率		
上賀別町	—	—	第一種住居地域	5%以下	0.4	市街化調整区域
三ツ目町	—	—	住居地域	5%以下	3.5	—
豊町丁	住居地域	5%以下	近隣商業地域	5%以下	5.0	用途地域の変更
中三丁目	住居地域	5%以下	—	—	2.9	—
中六丁目	—	—	—	—	3.1	—
中八丁目	—	—	第一種住居地域	5%以下	0.9	—

室蘭圏（室蘭市、登別市、伊達市）都市計画市街化区域と市街化調整区域、用途地域の一部が変更され、八月十六日北海道から告示されました。

現在の市街化区域と市街化調整区域は、昭和四十五年（一九七〇年）に決定されたもので、その後昭和五十四年に第一回の見直しを行って現在に至っています。今回は昭和六十五年を目標とした人口、土地利用などを基礎にして市街化区域、用途地域の面積が変更となったものです。変更箇所の位置は図面のとおりです。またその内容は別表のとおりです。

この図面と表は概略を示したものです。詳しくお知らせになりたい方は、市役所都市計画課に詳しい図面を用意しておりますのでお気軽にお越しください。



財政課は、いわゆる内部
 管理部門で、財政係と用途係を併せて十一人で担当しています。職場は二階です。

皆さんのご家庭でも毎月の収入から食料代、教育費はいくら、あるいは将来に備えて貯蓄するなど一家の家計をやりくりしていると思います。そうした市の台所を受け持っているのが財政課の仕事です。

係の主な業務を紹介しましょう。

◎財政係

市の仕事は、収入（市税、国・道補助金など）と支出（各事業費、人件費など）をあらかじめ決め、議会の議決を得てからいろいろの事業を実施することができ、これを〇〇年度予算といいますが、この予算を作成するのが、この係の最も重要な仕事のひとつです。

こいちは市役所です

—財政課—

◎用度係
 各課の事務や事業の執行にあたって、必要な備品や消耗品など物品の集中購入をし、物品の取得や管理を円滑かつ効果的に行っていきます。

また、市に物品を納入する業者からの物品購入等入札参加審査申請書の受付などの業務も行っていきます。

市では、経理事務をスムーズに処理するため、伝票会計をとり入れています。各課から出てくる莫大な量の伝票を、この係がすべて経理しています。このほか、市の資金計画を綿密にたてたり、事業費などの支払いのため、銀行から一時的に借り入れる仕事などもしています。

予算の作成は、各課の要求や市の総合計画、前年度の実績を基に総合的な見地から行われます。また、年度途中、必要に応じて修正予算も行っています。更に、この予算が各課で効率的に執行されているかも厳正に管理しています。

決算書の作成や毎年五月と十一月に、広報のぼりべつ

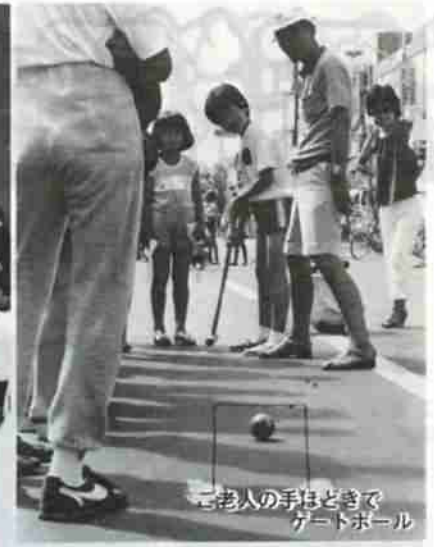
“で皆さんにお知らせしている財政事情の公表の内容を作成するのもこの係の仕事です。

健全な財政運営を進めていくためには、将来の街づくりや、財政の状況を適確に見極めなければなりません。そこで市の財政運営のあるべき姿として、中長期財政計画が作成されています。

この中長期財政計画の作成や、計画の適正な運営管理もこの係の仕事です。現在は、この中長期財政計画によって財政の健全な運営が進められています。



百太鼓の打ち響くなかでの
鬼踊り大郡舞



ご老人の手ほどきで
テートボール



ウマイン つめたいよう



アッコ! 大甲大会で



なかなかうまくのれないよう



昔なつかしいフラフープ

第七回 登別漁港まつり
 9月14日(金)・15日(土)

第7回 登別漁港まつり

9月14日(金)
9月15日(土)

第七回登別漁港まつりが、漁港を中心として九月十四日(金)、十五日(土)の両日盛大に開催されます。

登別漁港まつりは、産業の振興と地域の繁栄を願って開催されるもので、初日の十四日(金)は、午前九時に大漁旗をなびかせた三十隻の漁船が出港し、登別・白老の前浜の海上パレードで漁港まつりの開幕を告げます。

引き続き、荷さばき所前で海上安全大漁祈願祭、午後からは踊りとカニみこしなどの山車パレードが繰り広げられます。夜は、太平洋の海原をバックに豪華な花火大会が行われます。

二日目の十五日(土)には、三車協青年部による対抗ボート競争、特設ステージでのカラオケのど自慢大会など、盛りだくさんの催しが予定されています。

また、会場では、まつり期間中海産物の格安直売会や青空市も開かれますので、皆さん多数ご参加ください。

けで終っていませんか

——市民憲章実践運動を考える——

登別市民憲章は、市民の権利や義務を規則で縛ろうとするものではなく、市民自らの生活を整え律していく「あいことば」「みちしるべ」として、昭和四十三年に制定されました。

市では、市民憲章の具現を図るため、登別市総合基本構想、基本計画に沿って着々と街づくりを進めています。

また、憲章を市民一人ひとりの肉となるような運動をしようと昭和四十六年に登別市民憲章推進協議会が、各町内会、社会教育団体（文化、婦人、青年団体、子ども会

PTA連合会）老人クラブ、労働団体、企業など多くの市民の方々によって結成され、以来自主的な発想による啓発運動が展開されています。

しかし、どれだけの方々が憲章を理解し、行動をしているのでしょうか。

口先だけで終わっているのでは。今号では、市内のそれぞれの地域、学校などで積極的に活動をしている方々を通じて、私たちの日常生活の中で、市民憲章実践のあり方をもう一度考えてみたいと思います。



あいさつ運動を実践している登別中学校

人と人を結ぶ かけ橋

毎日の生活の中で、なにげなく交すあいさつ。私たちはこのあいさつひとつで喜んだり不愉快になることもありません。

今、市内の各地域、職場などで「明るく住みよいまちづくり」の一環としてあいさつ運動が展開されています。

この運動は、子どもたちに規律や、礼儀を正しく身につけてもらうために、PTA、先生がはじめました。その後生徒が自主的に参画し、自分たちの活動として標語を作ったり、毎朝校門の前に立ち、登校する生徒一人ひとりこ

登別市民憲章

わたしたちは古い歴史と美しい自然に恵まれた登別の市民です。ここにわたしたちの心がまえを定めてよりよいまちをつくることに努めます。

- 一、心身をきたえ よく働いて、活気あふれる豊かなまちをつくりましょう。
- 一、親切をつくし きまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し 力をあわせて、緑と 空気と太陽の いっぱいあるきれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる青少年の、健全な 夢の育つまちをつくりましょう。
- 一、教養をつみ 視野を広げて、平和で文化の かけ橋を高く築き、まちをつくりましょう。

昭和四十三年九月二十日制定

ふれあいの中 から学び

協議会では、笑いの絶えな

いさつを交わし心と心のかよい合いを深めています。また、今年の四月からは、さらに運動の輪を広げ、お互いの意志の疎通を図ろうと、登別小・中学校とPTAが合同であいさつ通りをもうけたり、合同の機関紙を発行しています。それに、町内会がタイアップして地域ぐるみの取り組みをみせています。

この教室は、市内の小中学生を対象として、昔から伝わる素朴な遊びを知らない現代の子に、手作り遊びの楽しさを知ってもらおうとともに、お年寄りとのふれあいを図ってもらうと企画したものです。

口先だ



お年寄りの指導を受け竹とんぼを作る子どもたち

この企画には、先人の偉業、知恵の深さを認識し、自立心を身につけてもらいたいとお年寄りの方も積極的に協力をしてくれました。

参加した子どもたちは、竹とんぼ、お手玉遊びやワラぞうり作り、講師のお年寄りの手助けや指導を受けながら、熱心に取り組んでいました。

よみがえる ふるまつの川

自分の部屋が、汚れていたり、庭の雑草がもうもうとおい茂っていたら、私たちは、整理や清掃をします。

現在、各町内会・婦人会や子ども会などでは「きれいなまちづくり」を目指して環境の浄化運動を推進しています。

鷺別連合町内会でも、「おが、ふるさとの川をきれいにしましょう」を合言葉に鷺別川下流の一斉清掃を十年前から実施しています。

今年も、七月に約五百人の人たちが朝早くから出て、川の周辺や川底のゴミなどを捨



鷺別川の一斉清掃

い集めていました。

また、どの参加者も、泥だらけになった服装も気にせず、すがすがしい汗を流し作業を進めていました。

この活動も、今では地域住民の中に浸透しつつあり、ゴミの不法投棄は減るなどモラルの向上が図られ、さらに、住民同志の連帯意識も高まっています。

市民一人ひとりが目標をもって

このほかにも、それぞれの団体、職場、地域などいろいろな実践活動が繰り広げられています。

そこで、私たちは今、何を

しなければならぬか。どんなことをしたらよいのかということになりました。

市民憲章は、「勤労」「親切」「健康」「希望」「文化」が基調となっています。この憲章精神のねらいは「人づくり」「地域づくり」に置いているといえます。

ですから、何も大それたことをしなればいけません。うことではありませぬ。

例えば、市民として青少年に愛のひと声をかける。路上に空カンやゴミを捨てない。

思いやりの心で

豊かなまちづくり

鷺別市民憲章推進協議会 会長 秋山 有盛

私たちの協議会も、発足して十四年になりました。

愛郷心、公德心の欠如が問われている今、市民一人ひとりが、市民憲章の精神をふりかえり、良識ある行動と隣人愛による人づくりに邁進することが大切です。

本協議会も、今年の行動目標を「あいさつ運動」「環境美化運動」の推進に重



また、自治組織である町内会活動をはじめ、各種自主的団体に積極的に参加し行動するなどの社会参加もあります。

そうすることによって、市民の連帯感、共同感が生まれ、語り合える仲間もでき、個性豊かな魅力ある地域社会ができていくのです。

市民一人ひとりが身近なことに目標を置いて実践することが、市民憲章具現へ大きくつながることではないでしょうか。

また、自治組織である町内会活動をはじめ、各種自主的団体に積極的に参加し行動するなどの社会参加もあります。

そうすることによって、市民の連帯感、共同感が生まれ、語り合える仲間もでき、個性豊かな魅力ある地域社会ができていくのです。

市民一人ひとりが身近なことに目標を置いて実践することが、市民憲章具現へ大きくつながることではないでしょうか。

市民一人ひとりが、「市民憲章」を、わが心として実践活動を展開していただくことをお願いします。

ふれあい広場



9月末には
お米の刈り入れ

今田直一さん
(千歳町)

説明で、四反から例年五俵半の収穫だったのが、今年は八俵にはなるのだそうです。

「田植えは機械を使わず、手植えでやっています。その方がいい結果がでますね。他にトウキビ、牧草なんかもやっていますが、米は七十七の喜寿までやろうと思っています」

「には長寿国ニッポンとは言えまったく頭の下がる思いがしました。」

ちなみに、今田さんは現在六十五歳、小学生の息子にも二十一年間対応しています。今田さん、九月末の刈り入れが待ち遠しいことでしょう。

▼ふれあい広場は、皆さんのまわりの身近な出来事、ホットな話題を取り上げ紹介していく企画です。

どんなことでも結構です。公聴広報課へお知らせください(TEL 2111内線222)

稲穂が十分に発育し、その重さに耐えきれず穂先を下に向けている風景は、秋を感じさせるものがあります。

しかし、ここ登別ではこんな風景の見られるところが二カ所しかないのを皆さんはご存知でしょうか。

写真は、その数少ない水田をお持ちの一人今田さんです。

「登別で水田を持っていると言えば、私と武田さん(川上町)ぐらいでしょう。不作の年が続きましたが、今年はいいですよ。」との

街かどで
中央町1丁目付近

ワッショイ、ワッショイー
威勢のいい掛け声と笛の音。行く夏を惜しむように子供みこしはマチのあちこちを練り歩きます。



このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

郷土史探訪

94 鉾山町Ⅲ

労働運動の先駆
友愛会の結成

開拓使がアメリカから招いた地質学者ライマンは、明治五年(一八七二年)に来日し、炭田・油田・金銀鉱床などの調査にあたりました。登別市では登別温泉・地獄谷・大湯沼の硫黄、カルルス地区の鉄鉱石、そして幌別川上流に金・銀・銅などの鉱物資源があることを「北海道地質総論」などで報告しています。

ただし、ライマンの調査では、幌別の金・銀・銅も鉱脈が少なく企業にはまったく適さないということ、後の旭坑、岩ノ崎坑などの好成績を考えると表面的調査に終わったと考えられます。

当時、未開の地・北海道の木材、水産、そして鉱物などの資源に目を向け投機的企業を行う者や、特に獲千金を夢みる山師連は、道内各地を回り歩き「カニサスペツ」の異名をとる幌別川上流にも間断なく訪れたようです。そして、鉾山地区での川床や崩落した川岸に緑色凝灰岩や黒鉱石鉱床がみられることに血眼になったことでした。

満足な探索道具も持たない彼らには砂金や銅鉱の露出部の発見が出来たのかどうか。結果的に大規模な調査や有力な鉱脈の発見と採掘、製錬の開始は前号紹介の小田良治によって明治三十九年以降に開始されます。

明治四十一年の報告では



鉾山軌道の客車前にて (昭和初期)

みと鋳での手掘り方式という大変な労働でした。
生活の日用品は、賃金と差引き勘定で事務所販売を行っており、殖民公報によると、米六十キロが七円八十銭、味噌三・七五キロが四十五銭、醤油一升が三十五銭、酒一升が六十銭で米の高値は誤りでしょうか。

北海道開拓の裏面史には、道路・鉄道開設などの土木工事に土工部屋・タコ部屋制度、鉾山業では納屋頭、飯場頭、棒頭などによる納屋制度・友子制度という苛酷無惨な労働者の生活史があります。明治四十二年十月、幌別硫黄山において南助松らによる労働争議が暴動化した記録もあり、生産設備や生活保障もない山間狭帯の山奥で少数者による友子制の名残りの労働がなされていたのでしようか、問題のある点です。

大正三年六月、室蘭では我が国労働運動の先駆者、鈴木文治を迎えて北海道で初めての友愛会結成発会式が行われました。幌別鉾山でも大正五年、友愛会幌別支部が小林立蔵、石井豊一らを中心に三十名で結成されましたが、大正六年の日鋼争議に伴う弾圧で同年の春に解散しています。

それにも明治四十年には、幌別郡内の戸数で第一位、役場支所、診療所、会社のクラブ、二つの映画館、旅館などがあり、物資も豊富で、早くから電燈がつき、当時、玉突場(撞球)があったのは鉾山だけと昔のヤマのよき時代を語る川又輝光さんと今は故人の千葉ミカさんと対談には誠に興味深いものがあります。

登別市郷土文化研究会
宮武 神一記

身障者を雇用の 事業主の方へ

身体障害者が固定した職業に従事し、生活の安定を維持するためには、事業主の身障者問題への理解と認識が必要です。

市では、事業主の身障者問題への意識高揚を目的に次のとおり身障者雇用優良事業所を表彰します。該当すると思われる事業主のかたは、市役所労政課へおこしください。

- ▽対象
 - 市内に居住する身障者を雇用している市内の事業所、事業主。
 - 9月1日現在で、法定雇用身体障害者数（従業員67人に対して身体障害者1人を雇用）を確保している事業所、事業主。
 - 国・地方公共団体、およびこれに準ずる機関は除く。
- ▽表彰方法 11月3日（土）の登



別市民表彰式で表彰状、記念品を贈呈します。

▽受付期間 9月10日（月）まで。

※詳しくは、労政課へお問い合わせください。（TEL 2111内線 263）

みんなで学ぼう

～日曜大工～

市では、技能尊重運動の一環として、技能士の指導でハイ帳（魚干し器）作りとこの作品のコンテスト大会を開催します。

▽日時 10月14日（日）午前9時30分～午後3時

▽場所 登別市職業訓練センター（道南バス若山営業所向かい）

▽費用 無料（材料は支給します）

▽対象者 市内にお住まいの満18歳以上の方。ただし、建築関係の仕事に従事している方とその

経験者は除きます。

▽定員 30名（定員になり次第締め切ります）

▽持参するもの ノゴ、かなづち、昼食

▽申込方法・期限 9月14日までに官製ハガキで氏名・住所・年齢・職業・電話番号を記入のうえ市役所労政課へ申し込みください。（TEL 059-103 登別市中央町6-11）

▽問合せ先 労政課（TEL 2111内線 263）

道産品愛用の 標語を募集します

道では、道産品愛用の意識の高揚と需要の拡大を図るため「パイ・ホッカイドウ運動」を繰り広げていますが、この運動の一環として、皆さんから標語を募集しています。

- ▽応募内容 道産品の愛用を内容としたもので、おおよそ20字以内
- ▽応募方法 官製ハガキに、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入（一枚に何点記入しても有効）
- ▽応募締切日 10月15日（当日消印のものも有効）
- ▽送付先 〒060 札幌市中央区北3条西6丁目・北海道商工

第9回チャリティー フラワートデザイン展

登別市文化協会手芸部では、次々とチャリティー・フラワートデザイン展を開催します。

皆さんお誘い合わせのうえ多数ご来場ください。

▽日時 9月25日・27日/午前9時～午後3時まで

▽場所 室蘭商工信用組合（幌別支店）

高校生の写真展に おこしください

高文連室蘭地区写真部による写真展が次のとおり開催されます。

老人大学の 大学祭が開催

お気軽にご鑑賞ください。

▽日時 9月8日・9日/午前10時～午後3時まで

▽場所 市民会館2階展示ホール

▽問合せ 市社会教育課（TEL 1100）

昭和三十二年歌会始め

六十年の初春を飾る宮中行事、歌会始めのお題が「旅」と定められました。詠進歌は一人一首とし、未発表のものに限りです。

▽詠進の期限 消印が10月11日までのものを有効

※書式、送付先など詳しくは、市社会教育課にお問い合わせください。（TEL 1100）

敬老の日になんで 敬老年金をお渡しします

毎年9月にお年寄りの方に敬意を表し、あわせて福祉の増進をはかるため敬老年金をお渡ししています。

なお、今年から対象者は、市内に1年以上居住する70歳以上の方です。

▷敬老年金支給額 70～79歳…6千円 80歳以上…1万2千円

▷問合せ 社会課 TEL 2111 内線 291

今年は、次の日程でお渡ししますが、対象者には9月1日までにハガキでご案内する予定です。

（敬老年金支給日程表）

	午前10:00～12:00		午後1:00～4:00	
	会場	地区	会場	地区
9月6日（木）	老人福祉センター	富士町・柏木町・片倉町・新田町	オロフレ荘	カルルス町
9月7日（金）	老人憩の家 白樺の家	中登別町	登別公民館	登別温泉町
	老人憩の家 友好の家	高浦町・幸町	幌別生活館	幌別町新築町
9月10日（月）	老人憩の家 中央の家	大和町・和歌山町	老人憩の家 桜木の家	桜木町・緑町・青葉町
	市役所第2庁舎（市中央公民館）	中央町・常盤町・千歳町		
9月11日（火）	老人憩の家 若草の家	若草町5・6丁目（上登別町一部）	若草婦人福祉の家	若草町1～4丁目
	老人憩の家 中央の家	栄町3・4丁目	登別公民館	登別町
9月12日（水）	老人憩の家 共栄の家	栄町1・2丁目	老人憩の家 旭の家	美園町
	市役所第2庁舎（市中央公民館）	新生町・上登別町	老人憩の家 久寿の家	富原町・若山町3・4丁目
9月13日（木）	上登別町	札内町・鶴山町・川上町・来馬町		

路外駐車場の 設置には届出を

昭和三十三年に公布された駐車場法は、道路交通の円滑化と都市機能の維持および増進を図ることを目的に作られた法律です。

この法律に基づき、駐車場を設置した時は届出することが義務付けられています。

最近、市内でも駐車場を経営される方が増えてきました。届出を忘れておられる方がいます。次の条件に該当する場合は、忘れずに届出を行ってください。

▽道路の路面外に設置される駐車場のための施設であつて、一般の公共の用に供されるもの

▽駐車場の用に供する部分の面積が五百平方メートル以上であるもの

▽都市計画区域内に設置され、かつその利用について料金を徴収するもの

※なお、今まで設置していた方も届出の必要場合もあります。詳しくは、都市計画課にお問い合わせください。（TEL 2111内線 276）

ふだんの心がけを大切に

まず、自分の住んでいる地域の特性をよくつかんでおくことが大切です。地理的にはどんな特徴があるか、どのような災害が起こりやすいか—など近所の人たちと話し合っておくのもよいでしょう。また、いざという場合の避難場

所や避難経路を確認しておくことが大切です。そのほか、家やへいなどの古くなった部分を修理したり、溝や下水の詰まっているところは掃除をするなど、ふだんから家の周りの備えを怠りなくしたいものです。



台風に備えて

青年の国内研修 参加者を募集

登録：室蘭・伊達・三市の教育委員会では、胆振西部青年の国内派遣研修を次のとおり実施します。この企画は、青年団体の先進地での視察、研修をとおして、青年団活動の中心となる青年リーダーを養成するために行うものです。

▽派遣期間 10月31日～11月4日
▽派遣先 姉妹都市訪問（白石市 巨里町）、茨城県水戸市

▽派遣人員 5名
▽研修内容 社会教育施設見学、先進地青年団体との交流をとおして団体運営、リーダーの役割、青年の社会参加などを研修。
▽参加資格 ①おおむね18歳から28歳までの青年男・女 ②現在団体活動をしている人、または今後団体活動に参加しようとする人 ③10月20日・21日（1泊2日）の事前研修に参加できる

市民健康講座

テーマは意識障害について

9月3日から9月9日まででは救急週間です。室蘭市医師会・室蘭市・登別市では、この機会に救急、急病についての正しい知識を皆さんに理解していただくことと、専門家による講演を行います。皆さん多数ご参加ください。

▽日時 9月7日（金）午後6時



ふれあう心の合言葉

一、教養をつみ視野を広げて、平和で文化のかけり高いまちをつくりましょう。

不用品ダイヤル市

⑤2111
内線257

おわけします（売り）

二段ベット、子供用食卓イス、一人用ソファー（2脚）、シングルベット、ベビーバス、オーディオ一式、ピアノ、夏タイヤ（600-12、615-13）、冬タイヤ（615-13）、バイク（250cc）、冷蔵庫、編織機、百科辞典、芝刈機、ぶらさがり健康機、衣類乾燥機

ゆずってください（買い）

学習机、ベビーカー、自転車（幼児用、小学生用、婦人用、大人用）、石油ストーブ（温風式、反射式、ポット式）、ホームタンク（90ℓ）、バイク（50ccミニ）、石油風呂桶、石油風呂釜、子供用ブランコ、ベビーコンビラック

子ども、非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

▽相談日/場所
○毎日：午前9時～午後3時（土曜、日曜、祝日を除く）/市役所市民相談室
○室蘭児童相談所の定例相談：9月20日（木）午後1時～4時 / 青少年会館（市立図書館横）
○室蘭児童相談所が行う「定例相談」を希望される方は、あらかじめ市役所市民相談室へお申し込みください。（☎⑤2111内線212）

▽会場 室蘭・登別保健センター（室蘭市東町4-20-6）
▽講師
○市立室蘭総合病院・東海林聖吉（小児科）
○市立室蘭総合病院・村上匡（内科）
○斎藤医院・斎藤義寛（精神神経科）
○大川原脳神経外科病院・井上慶俊（脳神経外科）

▽講演会終了後、個人の健康相談コーナーを設けますので、お気軽にご相談ください。

3カ月検診

にご相談ください。

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
▽日程・会場・対象地区
○9月26日：登別公民館（登別・登別温泉地区）
○9月27日：鶯別公民館（鶯別地区）
○9月28日：労働福祉センター（幌別地区）

▽受付時間 12時～12時15分（た

母子・児童相談



だし、登別公民館は12時30分～12時45分まで）
▽対象児 59年6月出生児（登別公民館は、59年5月・6月出生児）
▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

難病無料集団検診
難病の早期発見と適切な治療の指導を行うため、専門医師による無料検診を実施します。
▽検診対象者 原因や病名が不明など難病と思われる方
▽日時 9月30日（日）/午前9時から12時まで受付
▽場所 苫小牧市（苫小牧市立病院）

幼児のための 家庭教育相談

道・市教育委員会

道教育委員会と市教育委員会では幼児期の家庭教育に関する相談を次のとおり開催します。お気軽におこしください。

▽日時・場所 9月20日（木）
○市民会館：午前9時～正午
○鶯別公民館：午後1時～4時
▽対象者 幼児をお持ちの方
▽相談内容 幼児期の家庭教育に関する共通の問題について
▽相談委員
○札幌通信病院・堀野清孝（医学）
○文化女子大学室蘭短期大学・川崎徹（心理学）
○北海道教育庁胆振教育局・宮原博道（教育学）

▽参加申込期限 9月8日（土）
▽申込・問合先 市社会教育課（☎⑧1100）
※当日は、保育を配置した託児室を設けています。

